

生育目安・目標	適正な 栽植密度	作型	10a 苗立本数	収量構成 のめやす	作型	m ² 当たり株数	1株当たり莢数	m ² 当たり莢数	百粒重	目 標 収 量（ 製 品 ）																																																														
		単作	10,000本		単作	10株	50莢	500莢	34g	220kg/10a																																																														
		麦跡	14,000本		麦跡	14株	40莢	560莢	30g																																																															
時期	播種・出芽			分枝・伸長			開花・着莢			登熟（粒肥大）			収 穫																																																											
	5 月			6 月			7 月			8 月			9 月			10 月		11月																																																						
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上																																																					
作業名	排水対策	種子準備 耕起・施肥・播種 除草剤散布			中耕培土			中耕培土 病害虫防除① 開花期 病害虫防除②			病害虫防除③ 病害虫防除④			青立ち株 雑草 除去!!			コンバイン収穫		土づくり																																																					
		★周囲明渠 ★弾丸暗渠 ★耕起前除草			★種子消毒の徹底 ★鳥害対策の実施 ★除草剤散布の徹底			【第1回目】 ★子葉節まで			【第2回目】 ★初生葉節まで 培土高15cm以下			（★ウコンメイガ・アブラムシの防除） ★適期・適量散布を厳守 ★ほ場周辺へのドリフト防止のため液剤対応			★収穫の晩限：成熟期より15日頃まで ★刈取時間帯：11時～16時頃																																																							
		※除草剤の希釈水量を確認し、散布する（散布水量が少なすぎると効果が劣る）★明渠等の点検・整備で湿害回避																																																																						
作業のポイント	【排水対策】 ・消雪後、出来る限り早期にほ場の排水対策を実施する ・ほ場周囲の明渠（排水路につなげる）・弾丸暗渠 ・ほ場の団地化、耕起前除草剤の散布 ポイント・・・降雨後、地表水を24時間以内に排除する																																																																							
	【土壌改良・基肥】（10a 当たり）※地力により増減する ・土づくり 有機物の投入（ケイフン等） ・酸度矯正 マグクリーン 60～80kg ・基 肥 ワンタッチ大豆（緩効性肥料） 40～50kg いすれか 国産化成肥料 14-14-14 12～24kg 施用する 有機入り大豆配合2号 20～40kg																																																																							
	【追 肥】（10a 当たり） ・湿害による黄化や生育不良などが見られた場合は、速効性肥料により培土時または開花期に追肥する ・地力の低いほ場や連作ほ場は、しわ粒の発生軽減と増収のため、緩効性肥料を2回目培土時に追肥する（ただし、基肥に緩効性肥料を施用した場合は重複施用しない）																																																																							
作業のポイント	【種子準備】 ・種子更新 100% ※ルートビーズ種子塗沫処理 ・種子処理 （種子1kg:8ml使用）※ルザ-前に処理																																																																							
	<table><tr><th>薬剤名</th><th>薬剤量</th><th>対象病害虫</th></tr><tr><td>クルーザーMAXX</td><td>種子1kgあたり 原液8ml塗沫</td><td>苗立枯病、紫斑病、茎疫病、黒根腐病、アブラムシ類、タバノエ、ネキリムシ類、フスジヒメハムシ、ハト、キジバト</td></tr></table> ・播種量 単作 4～5kg（8～10本/m） 5月25日～6月上旬 麦跡 5～6kg（12～15本/m） 6月中旬 ポイント・・・播種時期に合わせて栽植密度を調整																			薬剤名	薬剤量	対象病害虫	クルーザーMAXX	種子1kgあたり 原液8ml塗沫	苗立枯病、紫斑病、茎疫病、黒根腐病、アブラムシ類、タバノエ、ネキリムシ類、フスジヒメハムシ、ハト、キジバト																																															
	薬剤名	薬剤量	対象病害虫																																																																					
クルーザーMAXX	種子1kgあたり 原液8ml塗沫	苗立枯病、紫斑病、茎疫病、黒根腐病、アブラムシ類、タバノエ、ネキリムシ類、フスジヒメハムシ、ハト、キジバト																																																																						
★排水条件の悪い場合・・・ →『畝立播種栽培』で発芽・苗立ちを安定させる																																																																								
作業のポイント	【中耕・培土】 ・1回目 播種20～25日後 ・2回目 1回目の2週間後 ・畝がM字型にならないよう注意する ・開花始めまでに終了する 第2複葉（本葉） 第1複葉（本葉） 初生葉 子葉 2回目 土寄せ（1回目から14日後） 1回目 土寄せ（第2複葉展開期）																																																																							
	【除草剤散布】周辺作物に飛散しないように注意する！ 下記の各農薬登録状況：令和7年3月31日現在																																																																							
	<table><tr><th>時 期</th><th>薬剤名</th><th>薬剤量(10a)</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="2">耕起前 播種前</td><td>ラウドアップマックスD-ト</td><td>200～500ml</td><td>水量 50～100ℓ(耕起前または出芽前まで)</td></tr><tr><td>タツダウシQ</td><td>250～500ml</td><td>水量 25～100ℓ(耕起または播種7日前まで)</td></tr><tr><td rowspan="3">播種後 覆土直後 出芽前 出芽前・生育期</td><td>クリアー細粒剤F</td><td>4～5kg</td><td>一年生雑草</td></tr><tr><td>クリアー乳剤</td><td>500～800ml</td><td>一年生雑草 水量 70～100ℓ</td></tr><tr><td>プロルプス乳剤</td><td>400～600ml</td><td>一年生雑草 水量 70～150ℓ</td></tr><tr><td rowspan="11">雑草生育期</td><td>パワーガイ-液剤</td><td>200～300ml</td><td>一年生雑草 水量 100ℓ(雑草発生前期～2葉期 但し収穫30日前まで)</td></tr><tr><td>全面畦間処理</td><td>ポルトラアブル</td><td>200～300ml</td><td>一年生イネ科雑草 水量 25～100ℓ(雑草生育期～収穫30日前まで)1回</td></tr><tr><td></td><td>ワザド P 乳剤</td><td>75～100ml</td><td>一年生イネ科雑草 水量 25～100ℓ(雑草生育期～収穫60日前まで)1回</td></tr><tr><td></td><td>大豆バサリ液剤</td><td>100～150ml</td><td>一年生雑草(イネ科除く)水量 100ℓ 開花前まで(収穫45日前まで)1回</td></tr><tr><td rowspan="3">畦間処理</td><td>ラウドアップマックスD-ト</td><td>200～500ml</td><td>一年生雑草 水量 50～100ℓ(雑草生育期～収穫前日まで)2回以内</td></tr><tr><td>タツダウシQ</td><td>250～500ml</td><td>一年生雑草 水量 25～50ℓ(雑草生育期～収穫前日まで)2回以内</td></tr><tr><td>ザク液剤</td><td>300～500ml</td><td>一年生雑草 水量 100～150ℓ(雑草生育期～収穫28日前まで)3回以内</td></tr><tr><td rowspan="2">土壌</td><td>バスタ液剤</td><td>300～500ml</td><td>一年生雑草 水量 100～150ℓ(雑草生育期～収穫28日前まで)3回以内</td></tr><tr><td>ダバソル</td><td>100～200ml</td><td>一年生雑草 水量 100ℓ(雑草生育期～収穫30日前まで)1回以内</td></tr></table>																			時 期	薬剤名	薬剤量(10a)	備 考	耕起前 播種前	ラウドアップマックスD-ト	200～500ml	水量 50～100ℓ(耕起前または出芽前まで)	タツダウシQ	250～500ml	水量 25～100ℓ(耕起または播種7日前まで)	播種後 覆土直後 出芽前 出芽前・生育期	クリアー細粒剤F	4～5kg	一年生雑草	クリアー乳剤	500～800ml	一年生雑草 水量 70～100ℓ	プロルプス乳剤	400～600ml	一年生雑草 水量 70～150ℓ	雑草生育期	パワーガイ-液剤	200～300ml	一年生雑草 水量 100ℓ(雑草発生前期～2葉期 但し収穫30日前まで)	全面畦間処理	ポルトラアブル	200～300ml	一年生イネ科雑草 水量 25～100ℓ(雑草生育期～収穫30日前まで)1回		ワザド P 乳剤	75～100ml	一年生イネ科雑草 水量 25～100ℓ(雑草生育期～収穫60日前まで)1回		大豆バサリ液剤	100～150ml	一年生雑草(イネ科除く)水量 100ℓ 開花前まで(収穫45日前まで)1回	畦間処理	ラウドアップマックスD-ト	200～500ml	一年生雑草 水量 50～100ℓ(雑草生育期～収穫前日まで)2回以内	タツダウシQ	250～500ml	一年生雑草 水量 25～50ℓ(雑草生育期～収穫前日まで)2回以内	ザク液剤	300～500ml	一年生雑草 水量 100～150ℓ(雑草生育期～収穫28日前まで)3回以内	土壌	バスタ液剤	300～500ml	一年生雑草 水量 100～150ℓ(雑草生育期～収穫28日前まで)3回以内	ダバソル	100～200ml
時 期	薬剤名	薬剤量(10a)	備 考																																																																					
耕起前 播種前	ラウドアップマックスD-ト	200～500ml	水量 50～100ℓ(耕起前または出芽前まで)																																																																					
	タツダウシQ	250～500ml	水量 25～100ℓ(耕起または播種7日前まで)																																																																					
播種後 覆土直後 出芽前 出芽前・生育期	クリアー細粒剤F	4～5kg	一年生雑草																																																																					
	クリアー乳剤	500～800ml	一年生雑草 水量 70～100ℓ																																																																					
	プロルプス乳剤	400～600ml	一年生雑草 水量 70～150ℓ																																																																					
雑草生育期	パワーガイ-液剤	200～300ml	一年生雑草 水量 100ℓ(雑草発生前期～2葉期 但し収穫30日前まで)																																																																					
	全面畦間処理	ポルトラアブル	200～300ml	一年生イネ科雑草 水量 25～100ℓ(雑草生育期～収穫30日前まで)1回																																																																				
		ワザド P 乳剤	75～100ml	一年生イネ科雑草 水量 25～100ℓ(雑草生育期～収穫60日前まで)1回																																																																				
		大豆バサリ液剤	100～150ml	一年生雑草(イネ科除く)水量 100ℓ 開花前まで(収穫45日前まで)1回																																																																				
	畦間処理	ラウドアップマックスD-ト	200～500ml	一年生雑草 水量 50～100ℓ(雑草生育期～収穫前日まで)2回以内																																																																				
		タツダウシQ	250～500ml	一年生雑草 水量 25～50ℓ(雑草生育期～収穫前日まで)2回以内																																																																				
		ザク液剤	300～500ml	一年生雑草 水量 100～150ℓ(雑草生育期～収穫28日前まで)3回以内																																																																				
	土壌	バスタ液剤	300～500ml	一年生雑草 水量 100～150ℓ(雑草生育期～収穫28日前まで)3回以内																																																																				
		ダバソル	100～200ml	一年生雑草 水量 100ℓ(雑草生育期～収穫30日前まで)1回以内																																																																				
	作業のポイント	【病害虫防除】周辺作物に飛散しないように注意する！																																																																						
		<table><tr><th>区 分</th><th>時 期</th><th>対象主要病害虫</th><th>薬剤名</th></tr><tr><td rowspan="2">基幹防除①・②</td><td rowspan="2">7月第2半旬～8月第1半旬 ※前年多発ほ場は7月の発生要観察</td><td>ウコンノメイガ</td><td>プレバソンフロアブル 5</td></tr><tr><td>アブラムシ</td><td>スミチオン乳剤</td></tr><tr><td rowspan="2">基幹防除③</td><td rowspan="2">8月20日～25日頃 (開花期4週間後頃)</td><td>紫斑病</td><td>アミスター20フロアブル</td></tr><tr><td>子実害虫</td><td>トレボン乳剤</td></tr><tr><td rowspan="2">基幹防除④</td><td rowspan="2">8月第5半旬～9月第1半旬</td><td rowspan="2">地上防除 ラジヘリ</td><td>アミスタートレボン SE</td></tr><tr><td>プレバソンフロアブル 5</td></tr><tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="9">マメシンクイガ等</td><td>アディオン乳剤</td></tr><tr><td></td></tr></table>																			区 分	時 期	対象主要病害虫	薬剤名	基幹防除①・②	7月第2半旬～8月第1半旬 ※前年多発ほ場は7月の発生要観察	ウコンノメイガ	プレバソンフロアブル 5	アブラムシ	スミチオン乳剤	基幹防除③	8月20日～25日頃 (開花期4週間後頃)	紫斑病	アミスター20フロアブル	子実害虫	トレボン乳剤	基幹防除④	8月第5半旬～9月第1半旬	地上防除 ラジヘリ	アミスタートレボン SE	プレバソンフロアブル 5			マメシンクイガ等	アディオン乳剤																											
区 分		時 期	対象主要病害虫	薬剤名																																																																				
基幹防除①・②	7月第2半旬～8月第1半旬 ※前年多発ほ場は7月の発生要観察	ウコンノメイガ	プレバソンフロアブル 5																																																																					
		アブラムシ	スミチオン乳剤																																																																					
基幹防除③	8月20日～25日頃 (開花期4週間後頃)	紫斑病	アミスター20フロアブル																																																																					
		子実害虫	トレボン乳剤																																																																					
基幹防除④	8月第5半旬～9月第1半旬	地上防除 ラジヘリ	アミスタートレボン SE																																																																					
			プレバソンフロアブル 5																																																																					
		マメシンクイガ等	アディオン乳剤																																																																					
	ポイント・・・開花期や病害虫の発生状況を把握し適期防除、薬剤が株元までかかるように丁寧に散布する																																																																							
作業のポイント	【刈 取】 ・完全に落葉し莢が褐色になった頃が成熟期 試し刈りを行い汚粒や損傷粒の発生状況、子実水分(22%以下)等を確認してから適期に刈り取る ・汚粒防止のため、雑草や青立ち株を取り除く																																																																							
	汚粒の発生しやすい時刻は収穫を避ける																																																																							
	刈り取り高さ・土砂の掻き込みに注意する																																																																							
作業のポイント	適期刈り取りに努める																																																																							
	【乾燥・調製】 共同乾燥調製施設へ搬入する																																																																							